

とねやま

編集・発行

大阪府立刀根山支援学校
本校教育部・訪問教育部

☎06-6853-0200

精神医療センター分教室

☎072-847-6951

阪大病院分教室

☎06-6876-5229

関西医大滝井病院分教室

☎06-6995-5215

関西医大枚方病院分教室

☎072-845-7033

<http://www.osaka-c.ed.jp/toneyama-y>

「初めての卒業生、卒業おめでとう！」

校長 横山 強

私が校長になって初めて卒業生を送ります。教員の頃は担任をしていなくても学年団として、授業担当として卒業生を送ってきました。事務局に勤務しているときは、来賓という立場で祝意を表しました。普段は接する機会のない生徒たちの卒業式でも参列すると子どもたちの成長の過程を凝縮して感じられてすばらしい時間を過ごさせてもらいました。

今回は刀根山支援学校の子どもたちを間近で送りだすことができ子どもたち以上に私自身がうれしく、緊張しています。刀根山支援学校を卒業する子どもたち、刀根山支援学校に在籍していたけれども病院を退院して地元（前籍）校で卒業する子どもたち、それぞれ在籍している期間は異なりますが皆、うちの学校の子どもたちです。治療の辛さ、活動の困難さを乗り越え、授業や行事を楽しみながらしっかり成長してきました。

ありふれた言葉ですが、卒業は通過点です。卒業する子どもたちは次のステップに進み、多くの方は刀根山支援学校を離れます。新しい環境でがんばってください。学校を離れても私たちは忘れません。困ったことや後輩に伝えたいことがあればいつでも連絡してください。これからも皆さんは刀根山支援学校の仲間です。今後ともよろしく願います。最後に改めて、ご卒業おめでとうございます。

高等部の卒業を迎えて

MJ君、WMさん御卒業おめでとうございます。

刀根山支援学校でいろいろなことを学び、たくさんの経験をしましたね。3年の間には、楽しかったことばかりでなく、つらかったこともあったはずですが、本当に良く頑張りました。

2人と過ごした楽しい時間は、2人にとってだけでなく在校生や先生たちにとっても大切な宝物になりました。ありがとう。これからは、支えてくれる周りの人たちを大切にしながら、「できない」とあきらめずに、自分に自信をもって「やりたい」の気持ちを忘れずに活躍の場を広げていってください。

2人の新しい一歩をこれからもずっと応援しています。

中学部の卒業を迎えて

YA君、中学部の三年生になってから、最高学年の意識が高まり、リーダーシップをとってみんなを引っ張ってくれる良い先輩でした。みんなのことをしっかり見て、やさしい言葉をかけてくれたり、ときには厳しいツッコミを入れてくれたりしました。中学部、最後の文化祭では脚本・監督・編集・主演と1人でなんでもやり、すごい映像作品を最後まで自分で仕上げましたね。アイデアがどんどんあふれてくる様子に何度も驚かされました。高等部に進み、さらに成長し活躍することを期待しています。

本校教育部教職員一同



卒業生への言葉

ご卒業おめでとうございます。中学部の3人は、学習発表会や卒業式の取り組みなど大きな行事を乗り越えることによって、とても成長しましたね。分教室での思い出を胸に、新たな歩みをはじめてください。

小学部の児童は、学習発表会などの行事、算数や国語などの授業、友だちと楽しくすごした休み時間、自分らしくキラキラと輝く場面がたくさんありましたね。4月からはいよいよ中学生です。中学生としての自覚と信念をしっかりと持ってこれからもがんばってください。

精神医療センター分教室教職員一同

卒業を迎えて

ご卒業、おめでとうございます。

今年度訪問教育部からは中学部生徒1人が卒業します。これからも色々なことがあるかもしれませんが、未来に向かって歩んでいってください。

心より応援しています。

訪問教育部の職員一同

本校教育部

卒業の言葉

中3 「Y、A」 あっという間の三年間でしたが、たくさんの思い出があります。特に心の中に残っている思い出は、中3のときのことです。中学部最後の文化祭では、映画を作りました。この学校に来て、車好きになったので、車がメインの映画です。編集作業に1か月以上かかりました。すごく大変だったけど、編集の作業がおもしろくてまたやりたいなと思いました。

中2の子と名古屋へ修学旅行に行きました。矢場とんのみそカツを食べて、リニア館に行き二日目は名古屋港水族館に行きました。二日間だけど、すごく楽しかったです。一番心に残る思い出でした。

三年間たくさんの思い出ができてうれしかったです。高校生になってもよろしくお祈りします。

高3 「M、J」 ついこの間入学したばかりなのに、ついに卒業の時がやってきました。刀根山支援学校では、1日1日が早く過ぎ3年間でたくさんの思い出ができました。休み時間にみんなで集まってたわいないおしゃべりをしたこと、大好きな体育の時間に熱くなり過ぎて友達とけんかしたことも今では大切な思い出です。まだまだ学校にいたい気分ですが、刀根山支援学校での出会いを一生の宝物にして、春からは次のステップに進みます。先生方、友達、今までありがとう。そして、これからも応援よろしくお祈りします。

高3 「W、M」 刀根山支援学校で過ごした日々はあっという間に過ぎた気がします。体育祭や文化祭、みんなで行った修学旅行は本当に忘れられません。楽しい友達や優しい先生方に支えてもらいながら、楽しい学校生活を過ごし、たくさんの思い出ができました。高等部で学んだことを忘れずに、これからの生活に役立てたいと思います。私を支えてくださった先生、家族、友達、本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお祈りします。

文化祭

2月1日(日)「AMAZING FESTIVAL」のスローガンのもと生徒が一丸となって文化祭を盛り上げました。生徒がアイデアを出し、コツコツと準備した午前中の2つの縁日(チョコQダーツ、トネリグ)、感動あり、笑いあり、驚きありの午後の有志発表どちらもたくさんの皆さんが楽しんでくれました。今年は、生徒全員で参加したミュージカル仕立ての「アナと雪の女王」が表演大賞を受賞しました。また、各分教室、地域の中学校・高等学校、病棟の皆さんのたくさんの作品も校内に展示され、個性あふれる作品が心を和ませてくれました。参加してくださったボランティアさんの皆さんありがとうございました。

訪問教育部

作品の展示

本校で行われた作品展に、訪問教育部からも力作を出展いたしました。

「書き初め」では、ひつじ年にちなんだ言葉や新年を迎えるイメージ等、それぞれの思いを字に託した表現が見どころでした。

力を合わせて作ったのは、壁面装飾です。梅雨時には、「雨の風景」。夏には、「海の中の生き物たち」、そして「秋の風景」は、池に落ちたドングリに、地面には色とりどりのキノコ。木の枝の上にはカラスがいて…。見ていると物語が生まれそうな楽しい作品になりました。

そして、「お月様」をテーマにした貼り絵では、壮大な宇宙もあれば、“どこの世界から見たお月様だろう”と不思議な気分になる作品もありました。



紙を丸めたり、テープで貼ったり…。子どもたちの頑張りか形になりました。

作品を見に来てくださった方々、ありがとうございました。



本年度の訪問教育

本年度の訪問教育はたくさんの病院で実施しました。愛仁会リハビリテーション病院、森之宮病院をはじめ、大阪医科大学附属病院、済生会茨木病院、国立循環器病研究センター、市立枚方市民病院(現市立ひらかた病院)、北野病院などのスタッフの皆さんの温かいご協力、助言によって、入院している児童生徒たちに授業ができました。

また、在宅訪問教育では、保護者の皆様にご世話になり、職員一同、感謝しております。来年度もご協力をよろしくお願いいたします。

精神医療センター分教室

◆◆◆学習発表会◆◆◆

運動会が終わった後、学習発表会の練習を開始していきました。今年も、病棟の体育館を利用して行いました。小学部の発表は、「分教室ウォッチ」と題して、1人1人の特技の発表を行いました。また、普段の授業の様子について映像をバックに、歌を発表しました。

中学部は、スクリーンをテレビに見立て、テレビから飛び出す劇「家族の団らん」の発表を行いました。子どもたちが発表したいことを考え、取り組んできました。

最後はギターなどの楽器演奏に合わせて歌の発表を行いました。たくさんの拍手をもらいながら、小学部、中学部ともに、満足のいく発表ができました。



◆◆◆卒業式に向けて◆◆◆



卒業制作では、卒業したあとも分教室のみんなが使えるようにと、大きなゴミ箱を作成してくれました。設計から材料の買出しまで自分たちで行い、とても良いものが出来上がりました。また、答辞の文章は、分教室でがんばったことや成長したことなどを、思い出と共に振り返りながら考えました。在校生は卒業生へのメッセージビデオや、卒業生へのプレゼント作りをがんばりました。卒業生たちのことを思って、心をこめて一生懸命考えました。

◆◆◆宿泊学習◆◆◆

小学部5年、中学部1・2年で、姫路市にある星の子館に1泊2日で行ってきました。

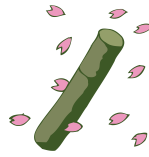
1日目の姫路セントラルパークでは、見慣れない動物たちに大興奮でした。姫路科学館では、プラネタリウムで星の様子や身の回りの科学を楽しく感じることができました。宿舎の星の子館では、食事はおいしくみんな大満足でした。夜は、天文教室とレク係が考えた爆弾しりとりで盛り上がりました。

2日目は、工作館でそれぞれの決めた木材を使って工作をしました。鉄砲、客船などをつくりました。

2日間をとおして、充実した活動ができ、良い思い出ができました。



阪大病院分教室



この春、卒業式を迎えられるみなさん、ご卒業おめでとうございます。一歩一歩前に進んで行かれるよう、願っています。

◎お正月遊び 1月16日(金)

新年恒例の行事「お正月遊び」をみんなで楽しみました。



はじめは「書き初め」。墨に絵の具を混ぜ、「春」や「夢」を書きました。新春にふさわしい色合いのすばらしい作品が完成しました。

次は「凧作り」。やわらかいシートで作った小さな凧にそれぞれ

イラストを描き、凧と丸めた新聞紙の棒を糸でつないで作りしました。棒を大きく振ると天井近くまで高く舞い上がりました。



最後は「独楽回し」と「ぼうずめくり」。

独楽は紐を巻くのが難しいのですが、何度も練習しました。上手に回せて喜ぶ人や、もう少しで回せるころまでうまくなった人など、それぞれ元気に挑戦していました。「ぼうずめくり」は2チームに分かれて遊びました。どちらのチームも甲乙つけがたく頑張っていました。



◎作品展 1月21日~27日

6階小児科病棟デイルームで子どもたちの作品を展示しました。

習字やお正月遊びの時の作品、また図工や美術の時間に製作した作品を、病院や保護者の方々に鑑賞していただきました。



関西医大枚方分教室

掲示板です☆



ジバニャンと
コマさんが・・・



お正月遊びの福笑いを1月の掲示板に飾りました。大流行の「妖怪ウォッチ」のジバニャンとコマさんです。毎日、顔が違って、看護師さんが思わず2度見するくらい面白い顔の時も…。幼児さんやスタッフさんにも楽しんでもらえたようです☆



書き初め

2015年になったので、書き初めをしました。低学年は、筆で線を書いて筆の感触を味わったり、羊の絵を描いたりしました。高学年は自分の好きな言葉を書きました。力が入った作品ができました。

関西医大滝井分教室

防災学習

2月5日(木)5時間目に、防災学習をしました。

約20年前に起こった阪神・淡路大震災の体験談を、崔先生から聞いた後、当時の写真を見て振り返りました。そして、みんながうちの年から聞いていた震災当時の様子を話し合った後、普段からどんな備えが必要か、災害時に特に気をつけることは何か、プリントをもとに、わかりやすい説明を聞きました。小学生も中学生も、集中して話を聞くことができました。授業の終わりに行ったおさらいでは、全員質問に正解！大切なことをしっかり覚えてくれたみんな、退院したら、うちのひとと復習して、万一のために備えて下さいね。



看護師さんのお話をききました！



学校では「キャリア教育」といって、「将来、社会の中で役割を果たしながら、自分らしく生きていってほしい」という願いのもとに様々な取り組みがされています。院内学級でも、入院しているときにこそ聞ける話を、といつも接している看護師さんに「どのような気持ちで看護師になったのか」「どうしたらなれるのか」などを話して頂きました。子どもたちからは「夜は寝ているの?」「パソコンに向かって何をしているの?」などの質問がでました。看護師になりたいという子どももいて、みんな真剣にお話を聞いていました。

校外作品展

刀根山支援学校児童生徒作品展が2月17日(火)より2月26日(木)まで豊中市蛸池公民館ロビーにて開催されました。本校教育部・訪問教育部・各分教室の児童生徒の作品が展示され、壁面を飾りました。子どもたちが楽しんで制作している授業の様子が眼に浮かぶ作品の数々でした。多くの温かい感想を頂きました。

